

環境整備にトラクター

50周年記念し同窓会

水沢工高へ贈る

県立水沢工業高校同窓会(菅原由和会長)は設立50周年を記念



し、同校(日當仁己校長生徒376人)に、

グラウンド整備と敷地内の除雪に対応す

るトラクター一式440万円相当を寄贈した。

同会は71(昭和46)年4月に設立。会員数は7881人にする。

50周年の節目を昨年迎えたが、新型コロナウイルスの影響で記念行事を1年延期。昨年12月に同校、PTAと意見交換したところ、グ

水沢工業高校に贈ったトラクターを前に、日當仁己校長(中央)らに模擬キーを手渡す同校同窓会の菅原由和会長(右)

ラウンド整備と除雪が課題として挙がったため、それらの解決に向けてトラクターの購入と寄贈を決めた。

このほど、同校で贈呈式が行われ、同会役員や教職員、生徒代表ら約30人が出席。菅原会長は「学校に必要と

される支援につながり、うれしい。工業高校の果たす役割は大きく、魅力ある学校づくり、安心安全な学校生活に活用してほしい」と述べ、日當校長らに模擬キーを手渡した。

日當校長は「学校環境を飛躍的に改善でき

る。末永く活用させていただきます」と感謝。生徒会長の2年菊地凱成さん(16)も「大切にしたい、学校をより良くしたい」とあいさつした。

式に先立ち、安全祈願の祈事も行われた。寄贈されたトラクターには、除雪用ローダーとグラウンドレーキも付属。校名と校章も入れた。トラクターは職員が運転し、グラウンド整備で早速活用するという。